



申8号2022年3月ダイヤ改正における駅及び運輸 区の業務体制の見直しに対する申し入れ団体交渉報告②

【ダイヤ改正関係】

9. 酒田運輸区運転士行路における「酒田～秋田間特急いなほ号」の技術保持及び、ダイヤ改正以降の運転士行路運用について考え方を明らかにすること。

回答. 必要な教育は実施していく考えである。

●臨行路など必要に応じて添乗して対応する。酒田も秋田も同条件であり気持ちは理解できる。

10. 羽越線・酒田～秋田間の特認曲線に対応した運転時分の見直しを行うこと。

回答. 酒田～秋田間の特認曲線は秋田支社で設定しているものである。

●秋田支社に確認したが運転時分は足りており、現場長からは足りないとは聞いていない。

11. 酒田運輸区運転士における110系車両の運転技術保持について明らかにすること。

回答. 必要な教育は実施していく考えである。

12. 酒田運輸区運転士行路運用に110系の車両運用を行わないこと。

回答. 酒田運輸区運転士行路に110系の車両運用は基本的に行わない考えである。

●基本行路に110系はなく、波動的な要素で運用されることはある。急遽の運用変更対応は現在も同じであり、車両運用について入れないと約束できない。

【検修について】

1. 検修社員がこれまで担っていた業務について今後、どのようにするのか明らかにすること。

回答. 検修業務については、関係箇所にて対応していく考えである。

●発注と軽油手配は残り基本的な考えは今と変わらない。軽油作業はNTSとの契約であり、重故障などは所属基地の社員対応。SIV故障となると、現状でも酒田では対応不可。秋田からの派遣。

【設備関係について】

1. 今後の作業間合いの確保はどのようにするのか考え方を明らかにすること。

回答. 今後も必要な作業間合いを確保していく考えである。

●作業員の働き方、安全面においても夜間より昼作業が好ましく、越後南線では間合いを取るために運休にした。間合い列車本数は少なくなっているため、間合い確保は昔と比べて取れている。

【車両・設備について】

1. GV-E400系、ワンマン列車運転時、無人駅に停車後に流れる自動放送の時間30秒以内に改修すること。

回答. 自動放送については、現行どおりで考えている。

●英文放送があるので長くなっている。基本的に現在のロムを一部切る事はできない。

2. GV-E400系ワンマン列車運転時、発車ベルが鳴動できるようにワンマン装置を改修すること。

回答. GV-E400系ワンマン装置については、現行通りで考えている。

●お客さまの声もなく、発車ベル改修が困難なので、マンパワーで対応をお願いしたい。